

授業科目	コンピュータ概論		単位/時間	168時間		
開講学科等	システム工学科1年		担当教員	川久保 あゆみ		
授業の目的・テーマ	コンピュータの「基礎理論に関する知識」について幅広く学習する。					
授業の到達目標	以下の試験に合格することを到達目標とする。 サーティファイ情報処理技能認定試験3級、2級1部 国家試験・基本情報技術者試験 午前免除試験					
授業の計画	1	2h	テキストⅠ 基礎理論(1-1~1-2)	26	2h	テキストⅠ 確認問題演習 その6
	2	4h	テキストⅠ 基礎理論(1-3~1-6)	27	2h	テキストⅡ データベース(2-1~2-3)
	3	3h	テキストⅠ 基礎理論(1-7~1-10)	28	2h	テキストⅡ データベース(2-4~2-6)
	4	3h	テキストⅠ 基礎理論(1-11~1-13)	29	3h	テキストⅡ データベース(2-7~2-10)
	5	2h	テキストⅠ 確認問題演習 その1	30	2h	テキストⅡ データベース(2-11~2-12)
	6	2h	テキストⅠ 確認問題演習 その2	31	3h	テキストⅡ データベース(2-13~2-15)
	7	1h	テキストⅠ アルゴリズムとプログラミング(2-1~2-6)	32	2h	テキストⅡ 確認問題演習 その1
	8	1h	テキストⅠ アルゴリズムとプログラミング(2-14~2-17)	33	3h	テキストⅡ ネットワーク(3-1~3-5)
	9	3h	テキストⅠ コンピュータ構成要素(3-1~3-3)	34	3h	テキストⅡ ネットワーク(3-6~3-10)
	10	3h	テキストⅠ コンピュータ構成要素(3-4~3-6)	35	2h	テキストⅡ ネットワーク(3-11~3-13)
	11	3h	テキストⅠ コンピュータ構成要素(3-7~3-8)	36	2h	テキストⅡ 確認問題演習 その2
	12	3h	テキストⅠ コンピュータ構成要素(3-9~3-10)	37	3h	テキストⅡ セキュリティ(4-1~4-3)
	13	2h	テキストⅠ コンピュータ構成要素(3-11~3-12)	38	3h	テキストⅡ セキュリティ(4-4~4-6)
	14	2h	テキストⅠ 確認問題演習 その3	39	3h	テキストⅡ セキュリティ(4-7~4-9)
	15	2h	テキストⅠ 確認問題演習 その4	40	2h	テキストⅡ 確認問題演習 その3
	16	2h	テキストⅠ システム構成要素(4-1~4-3)	41	43h	問題演習
	17	2h	テキストⅠ システム構成要素(4-4~4-5)	42	28h	基本情報 午前免除対策
	18	2h	テキストⅠ システム構成要素(4-6~4-7)	43		
	19	2h	テキストⅠ 確認問題演習 その5	44		
	20	2h	テキストⅠ ソフトウェア(5-1~5-3)	45		
	21	2h	テキストⅠ ソフトウェア(5-4~5-5)	46		
	22	2h	テキストⅠ ソフトウェア(5-6~5-7)	47		
	23	4h	テキストⅠ ソフトウェア(5-8~5-11)	48		
	24	3h	テキストⅠ ソフトウェア(5-12~5-13)	49		
	25	3h	テキストⅠ ハードウェア(6-1~6-3)	50		
授業の方法	講義を中心に行う。後半では練習問題を解き全体的な理解度を高める。					
テキスト	TAC 基本情報技術者 試験対策テキストⅠ【ベーステクノロジー編】 TAC 基本情報技術者 試験対策テキストⅡ【システムの利用と開発編】					
参考文献	TAC午前対策問題集、サーティファイ情報処理技術者能力認定試験2級、3級問題集					
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価した後、総合的に判断し最終評価をつける。 1. 出席率 2. 授業態度 3. 期末テスト					
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					○	
実務経験	コンピュータ業界・医療系システム開発等の経験を有する。					
実務経験の活かし方	テキストの表現では理解しがたいテーマについて、実例を用いて理解させる。					
履修上の注意事項	復習を行うこと。また授業中に解いた問題は、複数回解き直すこと。					

授業科目	プログラミング		単位/時間	75時間		
開講学科等	システム工学科1年		担当教員	内藤 正勝		
授業の目的・テーマ	基本情報技術者試験で出題される擬似言語を学び、処理の流れを把握しプログラムの流れを理解出来るようにする。各種検定に出題される擬似言語の問題に対応するための基礎的な力を養う。					
授業の到達目標	基本情報技術者試験科目Bで出題される擬似言語の問題を読解できる力を身に付ける。					
授業の計画	1	1h	アルゴリズムとは何か	26	2h	キュー
	2	2h	変数と定数	27	2h	ハッシュ表
	3	2h	基本制御構造その1 順次と分岐	28	2h	木
	4	1h	変数どおしの内容の交換	29	2h	2分探索木
	5	2h	基本制御構造その2 繰返し	30	2h	ヒープ
	6	2h	繰返しを用いた簡単な処理	31	2h	木の巡回
	7	2h	引数と返却値	32	1h	B木
	8	2h	配列と繰返し処理	33	1h	グラフ
	9	2h	2次元配列	34	2h	最短経路探索
	10	2h	計算量	35	2h	オブジェクト指向の基礎知識
	11	2h	最大値・最小値	36	2h	オブジェクト指向を活用したプログラム
	12	2h	線形探索	37	1h	ファイル処理
	13	2h	2分探索	38	2h	ファイルの併合
	14	2h	選択法	39	2h	ファイルの突合せ
	15	2h	交換法	40	2h	コントロールブレーク
	16	2h	挿入法	41		
	17	2h	再帰	42		
	18	2h	クイックソート	43		
	19	2h	その他の整列アルゴリズム	44		
	20	2h	文字列の照合	45		
	21	2h	文字列の置換	46		
	22	2h	文字列の圧縮	47		
	23	2h	データ構造の基礎知識	48		
	24	2h	リスト	49		
	25	2h	スタック	50		
授業の方法	講義を中心に行う。練習問題実施及び解説を反復し、理解度を高める。					
テキスト	基本情報技術者 試験対策テキストIV【アルゴリズム編】					
参考文献	基本情報技術者科目B試験対策問題集【TAC】他					
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1.出席率 2.授業態度 3.小テスト及び期末テスト					
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する						
実務経験						
実務経験の活かし方						
履修上の注意事項	板書を書き写すだけにならないように、講義・解説を見て聞いて、理解することを最重要点とする。					

授業科目	C言語 I	単位/時間	52時間		
開講学科等	システム工学科 1年	担当教員	内藤 正勝		
授業の目的・テーマ	C言語の文法や基本的なプログラムの作成方法を学ぶ。				
授業の到達目標	サーティファイC言語プログラミング能力認定試験3級程度の問題を読解できる力を身に付ける。				
授業の計画	1	2h	C言語とは	26	
	2	2h	変数の宣言と型	27	
	3	2h	編集の代入	28	
	4	3h	標準入力と標準出力①	29	
	5	3h	算術演算と型変換	30	
	6	2h	論理演算子	31	
	7	3h	ビット演算子	32	
	8	3h	1次元配列と2次元配列	33	
	9	3h	判断命令 if・三項演算子	34	
	10	2h	繰返し while	35	
	11	2h	繰返し do-while	36	
	12	2h	繰返し for	37	
	13	3h	文字列操作	38	
	14	3h	標準入力と標準出力②	39	
	15	3h	関数の基本・マクロ	40	
	16	3h	標準ライブラリ関数	41	
	17	3h	構造体・列挙体・共用体	42	
	18	5h	ポインタ	43	
	19	3h	ファイル操作	44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義を中心に行う。練習問題実施及び解説を反復し、理解度を高める。				
テキスト	無し				
参考文献	情報処理試験合格へのサポートCプログラミング【ワイルド】他				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1.出席率 2.授業態度 3.小テスト及び期末テスト				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	板書を書き写すだけにならないように、講義・解説を見て聞いて、理解することを最重要点とする。				

授業科目	システム開発	単位/時間	24時間			
開講学科等	システム工学科1年	担当教員	川久保 あゆみ			
授業の目的・テーマ	コンピュータの「システム開発分野に関する基礎知識」について学習する。					
授業の到達目標	以下の試験に合格することを到達目標とする。 サーティファイ情報処理技能認定試験3級、2級1部 国家試験・基本情報技術者試験 午前免除試験					
授業の計画	1	1h	テキストⅡ システム開発技術(5-1)	26		
	2	1h	テキストⅡ システム開発技術(5-2)	27		
	3	1h	テキストⅡ システム開発技術(5-3)	28		
	4	2h	テキストⅡ システム開発技術(5-4)	29		
	5	2h	テキストⅡ ヒューマンインタフェースとマルチメディア(1-1～1-4)	30		
	6	2h	テキストⅡ システム開発技術(5-5, 5-6)	31		
	7	2h	テキストⅡ システム開発技術(5-7)	32		
	8	2h	テキストⅡ システム開発技術(5-8)	33		
	9	2h	テキストⅡ システム開発技術(5-9)	34		
	10	2h	テキストⅡ システム開発技術(5-10, 5-11)	35		
	11	2h	テキストⅡ ソフトウェア開発管理技術(6-1～6-3)	36		
	12	2h	テキストⅡ ソフトウェア開発管理技術(6-4～6-5)	37		
	13	3h	テキストⅡ 確認問題演習	38		
	14			39		
	15			40		
	16			41		
	17			42		
	18			43		
	19			44		
	20			45		
	21			46		
	22			47		
	23			48		
	24			49		
	25			50		
授業の方法	講義を中心に行う。					
テキスト	TAC 基本情報技術者 試験対策テキストⅡ【システムの利用と開発編】					
参考文献	TAC午前対策問題集、サーティファイ情報処理技術者能力認定試験2級、3級問題集					
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価した後、総合的に判断し最終評価をつける。 1. 出席率 2. 授業態度 3. 期末テスト					
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する	○					
実務経験	コンピュータ業界・医療系システム開発等の経験を有する。					
実務経験の活かし方	テキストの表現では理解しがたいテーマについて、実例を用いて理解させる。					
履修上の注意事項	復習を行うこと。また授業中に解いた問題は、複数回解き直すこと。					

授業科目	情報管理と情報戦略		単位/時間	72時間	
開講学科等	システム工学科1年、ゲームクリエイター学科1年		担当教員	濱渦 昇	
授業の目的・テーマ	基本情報技術者試験の範囲、マネジメントとストラテジについて、各種技法と計算方法、用語を理解する。				
授業の到達目標	プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント、システム監査、システム戦略、経営戦略、企業活動、法務の用語の意味を説明できる。各種技法の計算ができる。				
授業の計画	1	3h	プロジェクトマネジメントとは、PMBOKの概要、統合マネジメント、スコープマネジメント	26	
	2	3h	タイムマネジメント	27	
	3	3h	コストマネジメント、品質マネジメント	28	
	4	3h	リスクマネジメント、調達マネジメント、サービスマネジメント、システム運用の基礎	29	
	5	3h	サービス運用とサービス移行のプロセスと機能	30	
	6	3h	サービス運用とサービス移行のプロセスと機能、サービス戦略とサービス設計のプロセス1	31	
	7	3h	サービス戦略とサービス設計のプロセス2、システム監査の概要、システム監査の実施	32	
	8	3h	情報システム戦略、ビジネスモデルとエンタープライズアーキテクチャ	33	
	9	3h	業務プロセス、ソリューションビジネス、システム活用促進・評価	34	
	10	3h	要件定義、経営戦略の基礎知識	35	
	11	3h	経営戦略手法、マーケティング	36	
	12	3h	マーケティング	37	
	13	3h	ビジネス戦略、経営管理システム	38	
	14	3h	技術開発戦略、ビジネスシステム、エンジニアリングシステム	39	
	15	3h	e-ビジネス、経営・組織論、IEとOR	40	
	16	3h	IEとOR	41	
	17	3h	IEとOR、品質管理の技法	42	
	18	3h	品質管理の技法、財務会計	43	
	19	3h	財務会計、減価償却とリース、損益分岐点分析	44	
	20	3h	損益分岐点分析、原価の計算	45	
	21	3h	知的財産権、セキュリティ関連法規	46	
	22	3h	労働関連・取引関連法規、その他の関連法規	47	
	23	3h	前期試験復習	48	
	24	3h	前期試験復習	49	
	25			50	
授業の方法	講義				
テキスト	TAC 基本情報技術者 試験対策テキストⅢ マネジメントと戦略編				
参考文献	なし				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、全体で判断する。 1. 授業態度 2. 期末テスト				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					○
実務経験	SE・プログラマとしてシステム開発を5年				
実務経験の活かし方	マネジメントやストラテジ技術が仕事の中でどのように使われているか具体例を挙げ説明する。				
履修上の注意事項	略語は英語のフルスペルと訳した意味の両方を覚える。配布する練習問題を保存していくこと。				

授業科目	パソコン実習	単位/時間	26時間	
開講学科等	システム工学科1年	担当教員	西 次郎	
授業の目的・テーマ	E x c e l 2 0 1 6 の基本的な操作方法と応用方法を習得する。			
授業の到達目標	サーティファイExcel表計算処理技能認定試験3級に合格にできるレベルの技術の習得を目指す。			
授業の計画	1	授業説明・ソフトウェアの説明	26	前期課題作成(提出)
	2	E x c e l 2016の基礎知識	27	
	3	E x c e l 入門 (関数の基礎)	28	
	4	ワークシートの活用① (基礎の学習)	29	
	5	〃	30	
	6	〃	31	
	7	ワークシートの活用② (応用の学習)	32	
	8	〃	33	
	9	〃	34	
	10	グラフ作成① (基本的なグラフ作成)	35	
	11	〃	36	
	12	〃	37	
	13	グラフ作成② (応用的なグラフ作成)	38	
	14	〃	39	
	15	〃	40	
	16	グラフ作成② (応用的なグラフ作成)	41	
	17	〃	42	
	18	〃	43	
	19	データベース (項目と並び替えの学習)	44	
	20	〃	45	
	21	〃	46	
	22	E x c e l の応用 (関数を使った応用)	47	
	23	〃	48	
	24	〃	49	
	25	前期課題作成(提出)	50	
授業の方法	パソコンを使用した実習			
テキスト/参考文献	実教出版「30時間でマスター E x c e l 2 0 1 6」 サーティファイ Excel表計算処理技能認定試験3級問題集			
評価の方法や基準	提出課題、授業態度、出席率			
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する	○			
実務経験	運輸系、金融系企業でのシステム管理及び顧客サポート業務、営業事務、一般事務。 (業務に関する仕様書作成や顧客会社との契約書作成、資料作成)			
実務経験の活かし方	上記の経験をもとに、一般ビジネス業務における書類作成や資料作成に必要なソフトウェア知識と、文書作成方法の指導をおこなう。			
履修上の注意事項	文章や数字入力のタイピングスキル向上のため、授業時間以外での練習も心掛けること。			

授業科目	パソコン実習		単位/時間	80時間
開講学科等	システム工学科1年		担当教員	西 次郎
授業の目的・テーマ	E x c e l 2 0 1 6 の基本的な操作方法と応用方法を習得する。			
授業の到達目標	サーティファイExcel表計算処理技能認定試験 3級合格を目指す。			
授業の計画	1	Excel前期の復習	26	模擬問題1 (解説)
	2	〃	27	〃
	3	〃	28	模擬問題1 (実践)
	4	〃	29	模擬問題2 (解説)
	5	〃	30	〃
	6	〃	31	〃
	7	Excelの応用	32	模擬問題2 (実践)
	8	〃	33	模擬問題3 (解説)
	9	〃	34	〃
	10	〃	35	〃
	11	〃	36	模擬問題3 (実践)
	12	〃	37	模擬問題4 (解説)
	13	練習問題1 (解説)	38	〃
	14	〃	39	〃
	15	〃	40	模擬問題4 (実践)
	16	練習問題1 (実践)	41	模擬問題5 (解説)
	17	練習問題2 (解説)	42	〃
	18	〃	43	〃
	19	〃	44	模擬問題5 (実践)
	20	練習問題2 (実践)	45	模擬問題6 (解説)
	21	練習問題3 (解説)	46	〃
	22	〃	47	〃
	23	〃	48	模擬問題6 (実践)
	24	練習問題3 (実践)	49	模擬問題7 (解説)
	25	模擬問題1 (解説)	50	〃
授業の方法	パソコンを使用した実習			
テキスト/参考文献	実教出版「30時間でマスター E x c e l 2 0 1 6」 サーティファイ Excel表計算処理技能認定試験 3級問題集			
評価の方法や基準	提出課題、授業態度、出席率			
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する				○
実務経験	運輸系、金融系企業でのシステム管理及び顧客サポート業務、営業事務、一般事務。 (業務に関する仕様書作成や顧客会社との契約書作成、資料作成)			
実務経験の活かし方	上記の経験をもとに、一般ビジネス業務における書類作成や資料作成に必要なソフトウェア知識と、文書作成方法の指導をおこなう。			
履修上の注意事項	文章や数字入力のタイピングスキル向上のため、授業時間以外での練習も心掛けること。			

授業科目	パソコン実習	単位/時間	80時間	
開講学科等	システム工学科1年	担当教員	西 次郎	
授業の目的・テーマ	E x c e l 2 0 1 6 の基本的な操作方法と応用方法を習得する。			
授業の到達目標	サーティファイExcel表計算処理技能認定試験 3級合格を目指す。			
授業の計画	51	模擬問題7 (解説)	76	模擬問題 (本番形式)
	52	模擬問題7 (実践)	77	〃
	53	Excel応用問題 (前期・後期の復習)	78	〃
	54	〃	79	課題提出
	55	〃	80	〃
	56	〃		
	57	〃		
	58	〃		
	59	〃		
	60	〃		
	61	〃		
	62	〃		
	63	〃		
	64	〃		
	65	模擬問題 (本番形式)		
	66	〃		
	67	〃		
	68	〃		
	69	〃		
	70	〃		
	71	〃		
	72	〃		
	73	〃		
74	〃			
75	〃			
授業の方法	パソコンを使用した実習			
テキスト/参考文献	実教出版「30時間でマスター E x c e l 2 0 1 6」 サーティファイ Excel表計算処理技能認定試験 3級問題集			
評価の方法や基準	提出課題、授業態度、出席率			
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する	○			
実務経験	運輸系、金融系企業でのシステム管理及び顧客サポート業務、営業事務、一般事務。 (業務に関する仕様書作成や顧客会社との契約書作成、資料作成)			
実務経験の活かし方	上記の経験をもとに、一般ビジネス業務における書類作成や資料作成に必要なソフトウェア知識と、文書作成方法の指導をおこなう。			
履修上の注意事項	文章や数字入力のタイピングスキル向上のため、授業時間以外での練習も心掛けること。			

授業科目	アルゴリズム	単位/時間	83時間			
開講学科等	システム工学科1年	担当教員	森下 浩二			
授業の目的・テーマ	アルゴリズム・C言語の基本的な文法・処理の復習及び実力アップ					
授業の到達目標	サーティファイ情報処理技術者能力認定試験1級(2/3受験)、サーティファイC言語プログラミング能力認定試験3級(1/30受験)の合格を目標とする。					
授業の計画	1	2h	基本アルゴリズムの復習	26	2h	対策問題
	2	2h	基本アルゴリズムの復習	27	2h	対策問題
	3	3h	基本アルゴリズムの復習	28	2h	対策問題
	4	3h	基本アルゴリズムの復習	29	3h	対策問題
	5	2h	基本アルゴリズムの復習	30	3h	対策問題
	6	2h	基本アルゴリズムの復習	31	2h	対策問題
	7	3h	C言語基本文法の復習	32	2h	対策問題
	8	2h	C言語基本文法の復習	33	3h	対策問題
	9	2h	C言語基本文法の復習	34	3h	対策問題
	10	3h	C言語基本文法の復習	35		
	11	2h	C言語基本文法の復習	36		
	12	2h	C言語基本文法の復習	37		
	13	3h	C言語基本文法の復習	38		
	14	3h	C言語基本文法の復習	39		
	15	2h	対策問題	40		
	16	2h	対策問題	41		
	17	3h	対策問題	42		
	18	3h	対策問題	43		
	19	2h	対策問題	44		
	20	2h	対策問題	45		
	21	3h	対策問題	46		
	22	2h	対策問題	47		
	23	2h	対策問題	48		
	24	3h	対策問題	49		
	25	3h	対策問題	50		
授業の方法	講義及び対策問題の実施と解説					
テキスト	無し					
参考文献	基本情報技術者アルゴリズムサポート (TAC) 、情報処理試験合格へのサポートCプログラミング (ウイネット)					
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1.出席率 2.授業態度 3.検定結果					
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する						
実務経験						
実務経験の活かし方						
履修上の注意事項	講義及び解説時には話をよく聞き、理解に努めること。					

授業科目	データベース I	単位/時間	57時間			
開講学科等	システム工学科 1年	担当教員	川村 剛久			
授業の目的 ・テーマ	関係データベースで必要となる基本的なSQL文を習得する。					
授業の 到達目標	SQLの基本的な文法を習得し、データベース操作ができるようになる。 前半は講義形式で行っていき、後半からは演習を行っていく。					
授業の 計画	1	3h	データベースとは 正規化について①	26		
	2	3h	正規化について② E-R図について	27		
	3	3h	SELECT文①	28		
	4	3h	SELECT文②	29		
	5	3h	副問い合わせ	30		
	6	3h	INSERT、UPDATE、DELETE文	31		
	7	3h	CREATE TABLE文	32		
	8	2h	SELECT文実習①	33		
	9	3h	SELECT文実習②	34		
	10	2h	SELECT文実習③	35		
	11	2h	SELECT文実習④	36		
	12	2h	SELECT文実習⑤	37		
	13	3h	SELECT文実習⑥	38		
	14	2h	SELECT文実習⑦	39		
	15	3h	SELECT文実習⑧	40		
	16	2h	INSERT、UPDATE、DELETE文実習①	41		
	17	2h	INSERT、UPDATE、DELETE文実習②	42		
	18	3h	CREATE TABLE文実習①	43		
	19	2h	CREATE TABLE文実習②	44		
	20	3h	総合演習①	45		
	21	2h	総合演習②	46		
	22	3h	期末演習課題	47		
	23			48		
	24			49		
	25			50		
授業の方法	講義・演習を中心に行う。					
テキスト	無し					
参考文献	情報処理教科書データベーススペシャリスト・データベーススペシャリスト試験過去問題					
評価の方法 や基準	以下の内容を個別に評価した後、総合的に判断し最終評価をつける。 1. 出席率 2. 授業態度 3. 演習課題					
実務経験のある教員による授業科目の場合、 右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する	○					
実務経験	コンピュータ業界・自治体関連システムや財務会計システムの開発等の経験を有する。					
実務経験の 活かし方	テキストの表現では理解しがたいテーマについて、実例を用いて理解させる。 また、実務経験をもとに必要性や活かし方を説明していく。					
履修上の 注意事項	復習を行うこと。またエラー解決などは、積極的に自己解決の努力をすること。					

授業科目	簿記		単位／時間	83時間				
開講学科等	システム工学科1年		担当教員	西成和広				
授業の目的・テーマ	商業簿記の基本を習得する							
授業の到達目標	全経簿記検定3級合格（検定日：2月18日）							
授業の計画	1	8/24 (木)	3h	検定及び授業の説明、財務諸表 仕訳の基本 P1-2～2-8（問題集P13）	26	11/28 (火)	2h	答案練習
	2	8/31 (木)	3h	仕訳の基本、勘定と転記 P2-9～2-12（問題集P14～17）	27	11/30 (木)	3h	答案練習
	3	9/7 (木)	3h	現金と預金、当座預金、商品売買、掛取引 P4-2～5-7（問題集P34・35・42・43・44）	28	12/4 (月)	2h	答案練習
	4	9/14 (木)	3h	返品、費用・収益、約束手形 P5-8～7-4（問題集P45・53・55・56・59）	29	12/5 (火)	2h	答案練習 (冬休み課題配布5回分)
	5	9/21 (木)	3h	手形貸付金・借入金、その他の債権債務 P7-5～8-10（問題集P60・65・66・67）	30	1/16 (火)	2h	答案練習
	6	9/28 (木)	3h	その他の債権債務、現金過不足 P8-11～9-7（問題集P68・69・72・73）	31	1/18 (木)	3h	答案練習
	7	10/5 (木)	3h	消費税、租税公課、有価証券 P10-1～11-6（問題集P80・81・83・84）	32	1/22 (月)	2h	答案練習
	8	10/16 (月)	2h	有形固定資産、株式の発行 P11-7～12-6（問題集P84・85・87）	33	1/23 (火)	2h	後期試験
	9	10/17 (火)	2h	貸倒の見積り、消耗品費、帳簿の締切、仕訳の復習 P13-10～13-14、14-20（問題集P90・93・94）	34	1/25 (木)	3h	答案練習
	10	10/19 (木)	3h	仕訳の復習（第1問対策）5回分	35			
	11	10/23 (月)	2h	仕訳の復習（第1問対策）5回分	36			
	12	10/24 (火)	2h	精算表（第5問対策）2回分（1回分解説）	37			
	13	10/26 (木)	3h	精算表（第5問対策）2回分	38			
	14	10/30 (月)	2h	財務諸表（第5問対策）2回分196.192 仕訳の復習	39			
	15	10/31 (火)	2h	計算問題（第2問対策）187.188.190.191.192.194 仕訳の復習	40			
	16	11/2 (木)	3h	計算問題（第2問対策）195.196.198 仕訳確認テスト（20問）60点未満は補講	41			
	17	11/6 (月)	2h	3伝票制、商品有高帳（第3・4問対策） 195.197/201.193.195	42			
	18	11/7 (火)	2h	3伝票制、商品有高帳（第3・4問対策）、仕訳復習 198.199/197.199	43			
	19	11/9 (木)	3h	売上・仕入帳、固定資産台帳183/188.193 小口現金出納帳（第3・4問対策）200/202	44			
	20	11/13 (月)	2h	売上・仕入帳、小口現金出納帳（第3・4問対策）、仕訳復習 188.193.204.206	45			
	21	11/14 (火)	2h	精算表2回分、仕訳復習	46			
	22	11/16 (木)	3h	精算表2回分、仕訳復習	47			
	23	11/20 (月)	2h	第2～4問対策各1回分	48			
	24	11/21 (火)	2h	第2～4問対策各1回分	49			
	25	11/27 (月)	2h	答案練習	50			
授業の方法	講義、答案練習							
テキスト	全経簿記能力検定試験公式テキスト・問題集3級、自作プリント							
参考文献	全経簿記3級過去問題							
評価の方法や基準	授業への取り組み方、後期試験、出席率など							
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する								○
実務経験	一般企業での経理業務							
実務経験の活かし方	実務上での処理などを講義に交えて話す							
履修上の注意事項	電卓持参 答案練習の点数次第では、検定直前2週間に補習実施（9：20～12：00）							

授業科目	コミュニケーション	単位/時間	24時間			
開講学科等	システム工学科1年	担当教員	森下 浩二			
授業の目的・テーマ	社会人として仕事をしていく上で必要なコミュニケーションスキルを身に付けさせる					
授業の到達目標	以下のコミュニケーションスキルを身に付けさせる ・自身の考えや自身が持っている情報を正確に相手に伝えることができる。 ・相手の考えや相手が持っている情報を正確に聞き取ることができる					
授業の計画	1	3h	ワークショップのルール説明、他己紹介	26		
	2	3h	ワークショップ（課題解決）	27		
	3	3h	ワークショップ（集団内主張）	28		
	4	3h	ワークショップ（課題解決）	29		
	5	3h	ワークショップ（集団内主張）	30		
	6	3h	ワークショップ（集団内主張）	31		
	7	3h	ワークショップ（課題解決）	32		
	8	3h	ワークショップ（課題解決）	33		
	9			34		
	10			35		
	11			36		
	12			37		
	13			38		
	14			39		
	15			40		
	16			41		
	17			42		
	18			43		
	19			44		
	20			45		
	21			46		
	22			47		
	23			48		
	24			49		
	25			50		
授業の方法	ワークショップ（グループ討議）					
テキスト	なし					
参考文献	ウイネット プレゼンテーション技法、プレゼンテーション技法（指導のてびき）					
評価の方法や基準	出席率、授業態度					
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する						
実務経験						
実務経験の活かし方						
履修上の注意事項	グループ討議であるため、教員からのアドバイスは控え、学生の積極的な態度を重視する。					

授業科目	国家試験対策(情報セキュリティ)		単位/時間	24時間	
開講学科等	システム工学科1年		担当教員	濱渦 昇	
授業の目的・テーマ	基本情報技術者試験にて出題される情報セキュリティ分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。				
授業の到達目標	基本情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	2h	OSI基本参照モデル・TCP/IP・LAN間接続装置	26	
	2	2h	IPアドレス、プロトコル、FW	27	
	3	2h	暗号化とデジタル署名	28	
	4	3h	マルウェア	29	
	5	3h	練習問題実施・解説 1	30	
	6	3h	練習問題実施・解説 2	31	
	7	3h	練習問題実施・解説 3	32	
	8	3h	練習問題実施・解説 4	33	
	9	3h	練習問題実施・解説 5	34	
	10			35	
	11			36	
	12			37	
	13			38	
	14			39	
	15			40	
	16			41	
	17			42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説				
テキスト	なし				
参考文献	基本情報技術者試験対策テキストⅡ システムの利用と開発編 基本情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(アルゴリズム)		単位/時間	54時間	
開講学科等	システム工学科1年		担当教員	森下 浩二	
授業の目的・テーマ	基本情報技術者試験にて出題されるアルゴリズムの分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。				
授業の到達目標	基本情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	3h	探索処理	26	
	2	3h	整列処理	27	
	3	4h	文字列操作処理	28	
	4	2h	データ構造 1	29	
	5	2h	データ構造 2	30	
	6	2h	データ構造 3	31	
	7	3h	ハッシュ法	32	
	8	2h	再帰呼び出し	33	
	9	3h	応用整列処理 1	34	
	10	3h	応用整列処理 2	35	
	11	3h	練習問題実施・解説 1	36	
	12	3h	練習問題実施・解説 2	37	
	13	3h	練習問題実施・解説 3	38	
	14	3h	練習問題実施・解説 4	39	
	15	3h	練習問題実施・解説 5	40	
	16	3h	練習問題実施・解説 6	41	
	17	3h	練習問題実施・解説 7	42	
	18	3h	練習問題実施・解説 8	43	
	19	3h	練習問題実施・解説 9	44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説				
テキスト	無し				
参考文献	基本情報技術者試験対策テキストIVアルゴリズム編【TAC】 基本情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(オブジェクト指向)		単位/時間	16時間	
開講学科等	システム工学科1年		担当教員	内藤 正勝	
授業の目的・テーマ	基本情報技術者試験にて出題されるC言語の分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。				
授業の到達目標	基本情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	1h	オブジェクト指向、オブジェクトとクラス	26	
	2	1h	プログラミングの基本	27	
	3	1h	オブジェクト配列、メンバ変数	28	
	4	1h	複数の数値データ属性をもつクラス	29	
	5	1h	データ構造の表現	30	
	6	1h	文字列操作のクラス	31	
	7	1h	練習問題実施・解説 1	32	
	8	1h	練習問題実施・解説 2	33	
	9	1h	練習問題実施・解説 3	34	
	10	1h	練習問題実施・解説 4	35	
	11	1h	練習問題実施・解説 5	36	
	12	1h	練習問題実施・解説 6	37	
	13	1h	練習問題実施・解説 7	38	
	14	1h	練習問題実施・解説 8	39	
	15	1h	練習問題実施・解説 9	40	
	16	1h	練習問題実施・解説 10	41	
	17			42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説				
テキスト	なし				
参考文献	基本情報技術者試験対策テキストV プログラミングC言語編【TAC】 基本情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(模擬試験)		単位/時間	24時間	
開講学科等	システム工学科1年		担当教員	川村 剛久	
授業の目的・テーマ	基本情報技術者試験本試相当レベルの問題を解き、各問題に対する解答時間の配分や、現時点での各分野における理解度を確認する。				
授業の到達目標	基本情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 1	26	
	2	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 2	27	
	3	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 3	28	
	4	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 4	29	
	5	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 5	30	
	6	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 6	31	
	7	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 7	32	
	8	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 8	33	
	9			34	
	10			35	
	11			36	
	12			37	
	13			38	
	14			39	
	15			40	
	16			41	
	17			42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	模擬試験 実施・自己採点及び確認				
テキスト	無し				
参考文献	無し				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	ビジネス実務 I (担任)	単位/時間	29時間			
開講学科等	システム工学科 1年	担当教員	森下 浩二			
授業の目的・テーマ	働くこと、生きることについての「考え方」「思い」を醸成させる。					
授業の到達目標	自己分析をし、自分がこれからどうなりたいかを考えることができる。					
授業の計画	1	4h	今気になっていること	26		
	2	4h	キャリアアンカー	27		
	3	5h	もっともな、モットー	28		
	4	5h	始める一歩!	29		
	5	2h	自己PRについて	30		
	6	9h	自己PR作成	31		
	7			32		
	8			33		
	9			34		
	10			35		
	11			36		
	12			37		
	13			38		
	14			39		
	15			40		
	16			41		
	17			42		
	18			43		
	19			44		
	20			45		
	21			46		
	22			47		
	23			48		
	24			49		
	25			50		
授業の方法	講義及び実習					
テキスト	自分のキャリアを自分で考えるためのワークブック					
参考文献	なし					
評価の方法や基準	授業態度、出席率 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する					
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する						
実務経験						
実務経験の活かし方						
履修上の注意事項	これからの自分について真剣に考える。					

授業科目	ビジネス実務 I (マナー等)	単位/時間	13時間
開講学科等	システム工学科 1年	担当教員	濱田 恵美
授業の目的・テーマ	人間関係を円滑にするための“知恵”であるマナーの知識を具体的に教えることに加え、演習などを通じて学生の意識を高め、よりよい人間関係を築くために必要なコミュニケーションを身に付けさせることを目的とし、習った知識を日常生活の中で実践することの大切さを徹底させるような授業の進行・運営を心がける		
授業の到達目標	相手を敬い、思いやる気持ちを上手に相手に伝えるためには、どのようにすべきかについても常に考え、配慮ある行動ができる人になれるよう、また社会人に必要なビジネスマナー等を学生のうちに少しでも習得できることで、学生から社会人になることへの不安をなくし、ひいては社会人として自信を持って行動できるよう繋げていくことを到達目標とする		
授業の計画	1	4/18 OR 立ち居振る舞いの基本	26
	2	4/25 マナーとは何か	27
	3	5/2 立ち居振る舞いの基本	28
	4	5/9 立ち居振る舞いの基本	29
	5	5/16 立ち居振る舞いの基本	30
	6	5/23 丁寧な言葉遣い	31
	7	5/30 丁寧な言葉遣い	32
	8	6/6 丁寧な言葉遣い	33
	9	6/13 丁寧な言葉遣い	34
	10	6/20 丁寧な言葉遣い	35
	11	6/27 電話応対	36
	12	7/4 電話応対	37
	13	7/11 来客応対	38
	14		39
	15		40
	16		41
	17		42
	18		43
	19		44
	20		45
	21		46
	22		47
	23		48
	24		49
	25		50
授業の方法	レクチャー・ロールプレイング		
テキスト/参考文献	日本マナー・プロトコール協会 マナー・プロトコールの基礎知識 / ウィネット 実践ビジネスマナー		
評価の方法や基準	出席率・態度・身だしなみ・演習の取り組み方・課題・筆記テスト 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する		
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する			○
実務経験	金融機関において、受付・来客応対および電話応対等を担当		
実務経験の活かし方	社会人としての必要な心構えやマナーについて、また来客応対や電話応対等の演習に活かす		
履修上の注意事項	挨拶の励行や正しい言葉遣いを身に付けるとともに、適切な態度で授業に臨むことを求める		